

JALマイレージを活用した「二地域居住生活」の推進に取り組みます

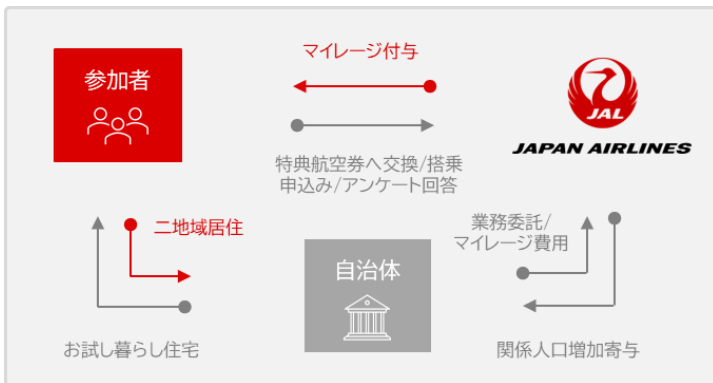
～大分県玖珠町ならびに大分県信用組合と連携し包括的サービスを提供～

JALグループは中期経営計画のローリングプランにおいてESG戦略を最上位の戦略として位置付け、「移動を通じた関係・つながり」を創造することで、社会的価値と経済的価値の双方を創出し、企業価値を向上させるという価値創造ストーリーを示しています。このたびその一環として、都市圏と地域の2つの拠点を行き来する新しい生活スタイル「二地域居住生活」を推進します。

本取り組みは、JALマイレージを参加者へ提供することで、都市圏在住者による地方との二地域居住生活における移動をサポートする試みで、これにより「都市部への人口一極集中」やそれに伴う「地域人口の減少」、「地域経済の衰退」といった社会課題の解決を図ります。

また、本取り組みを二地域居住先での生活を含めた包括的かつ持続的なサービスとするため、大分県玖珠郡玖珠町(町長: 宿利政和)ならびに大分県信用組合(本社: 大分県大分市、理事長: 吉野一彦)と、2024年10月16日に「持続的な人流創造に関する協力覚書(MOC)」を締結しました。

本覚書では2024年から2026年度末までの3年間における協力事項を定めており、初年度の実証試験も含め、延べ50人程度の二地域居住者を見込んでおります。参加者は対象期間中、玖珠町内の「お試し暮らし住宅」に居住し、自治体職員や地域住民と生活する中で、将来的な移住・定住を検討します。



(本取り組みのスキーム)



(道の駅「童話の里くす」)

マイレージにより移動を促進する二地域居住生活の取り組みは本邦航空会社として初の試みであり、順次、連携地域を拡大し、「関係・つながりの創出」を推進します。JALグループは、本取り組みを起点として、参加者に地域の魅力を再認識いただき、移住・定住人口の増加に繋げることで持続可能な地域の発展に貢献してまいります。

■本覚書による具体的な協力事項

- 【JAL】 2024年度は月4往復相当のマイレージを提供し、二地域居住における移動をサポート
- 【玖珠町】 マイレージ費用等への助成金適用ならびにお試し暮らし住宅(家賃:水道光熱費込み3万円/月)を提供
- 【大分県信用組合】 二地域居住者が域内で住居を購入する場合に専用の住宅ローンを提供